

令和6年度第1回(第14回) 瑞穂町地域公共交通会議資料



令和6年5月28日(火)
場所:瑞穂町役場 1階ホール

令和3年10月 実証実験運行開始

令和4年度

地域公共交通会議での主な議題・決定事項

- 運行計画の見直し案の承認、実証実験運行の延長決定(～令和6年9月)
- 運行評価基準の考え方について協議

令和5年4月 新たな運行計画での運行開始

令和5年度

地域公共交通会議での主な議題・決定事項

- 運行評価基準を設定し、2路線の代替サービスへの移行を確認
- 意見交換会を踏まえ、代替サービスは町内全域を対象としたデマンド交通を採用

本日

令和6年5月28日 令和6年度第1回地域公共交通会議

【報告事項】●利用実績

【協議事項】●実証実験運行終了後の公共交通の運行方針

利用状況の把握、調査の実施

継続的な広報・周知活動

1. 瑞穂町コミュニティバス 運行状況の報告について

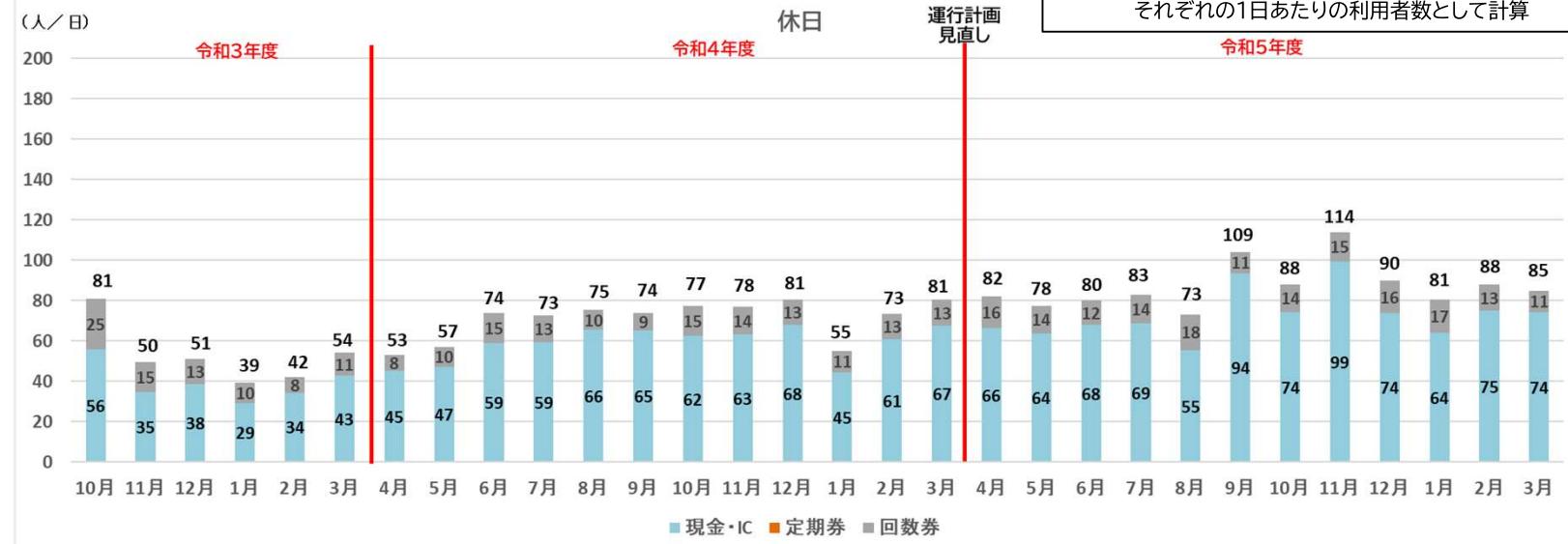
利用実績① 1日あたりの利用者数の推移(令和5年度)

3

- 平日は10月、休日は8月を除き、すべての月で前年同月比で増加している
- 令和4年10月以降定期券販売枚数が減少しており、現金・ICカードでの乗車が増加に寄与



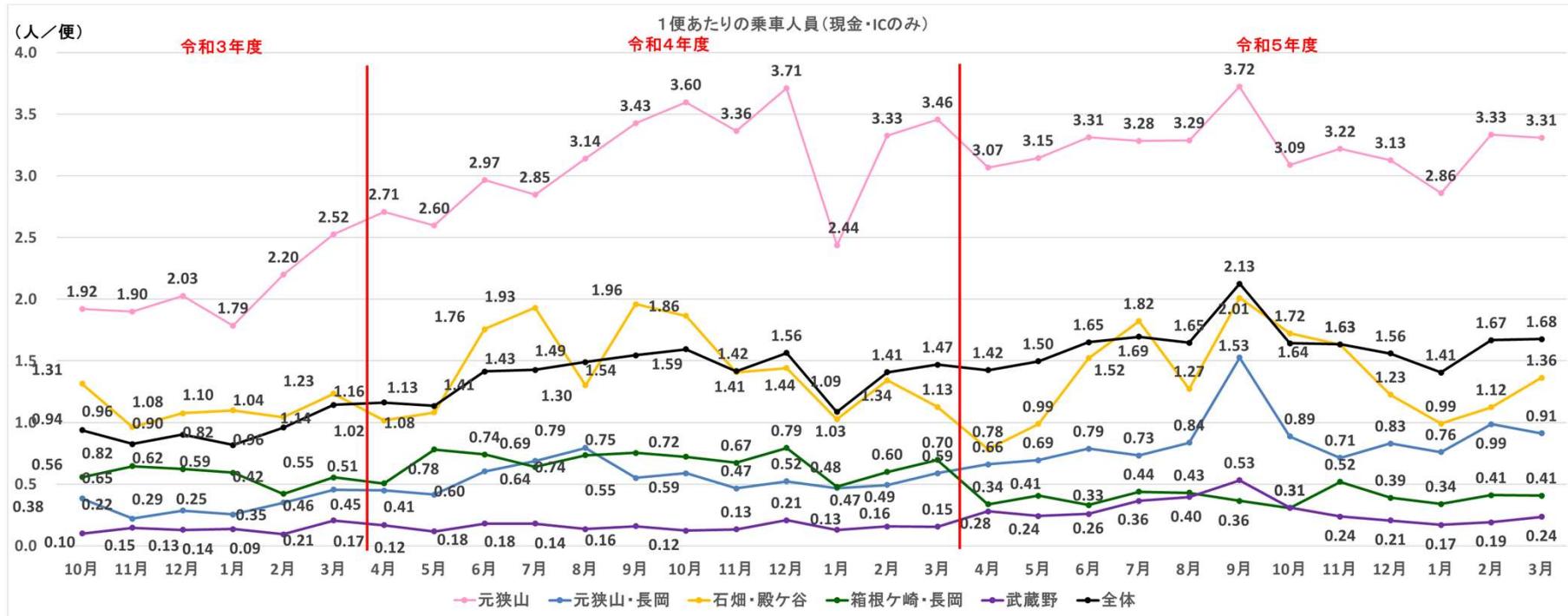
定期券: 平日に1日1回利用するものとして計算
回数券: 販売した券の枚数を、その月の日数で除した値を平日・休日
それぞれの1日あたりの利用者数として計算



運行実績② 1便あたりの乗車人員(令和5年度)

4

- 全体の値は、12月(前年同月と同じ値)を除きすべての月で前年同月を上回っている
- 元狭山コースは前年同月以下の月もあるが、1月を除いてすべての月で3.0人/便を上回る
- 元狭山・長岡コースはすべての月で前年同月を上回るが、9月以外は1.0人/便を下回る
- 石畠・殿ヶ谷コースは、9月、11月、3月以外は前年同月を下回る
- 箱根ヶ崎・長岡コース、武藏野コースは運行計画変更後も、一度も1便あたり1人を上回らず



- 全路線の収支率(概算)は昨年度の5.7%より向上し7.3%
- 元狭山、元狭山・長岡、箱根ヶ崎・長岡の3コースは前年より増加
- 元狭山・長岡コース、箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コースは5%に満たない状況

■令和5年度収支率(概算)

	元狭山	元狭山・長岡	石畠・殿ヶ谷	箱根ヶ崎・長岡	武蔵野	全体
運行経費(百万円)	44.5	29.2	18.0	7.8	6.1	105.7
運賃収入(百万円) ※定期券、回数券を含む	5.3	1.1	1.0	0.2	0.1	7.8
町負担額(百万円)	39.2	28.1	17.0	7.7	6.0	97.9
収支率(%)	12.0	3.9	5.5	2.5	1.9	7.3
R4年度収支率(%)	10.0	2.4	5.5	2.2	1.9	5.7
昨年度からの増減 (ポイント)	+2.0	+1.5	-	+0.3	-	+1.6

※小数点第二位以下を四捨五入しているため、全体が各路線の合計と一致しない等計算が合わないことがある
※運行経費は、全体の運行経費を1年間の走行距離に応じて各路線に配分して計算

2. 瑞穂町コミュニティバス実証 実験運行終了後の公共交通 の運行方針について

- 運行評価基準として設定した収支率と沿線人口密度での評価により、実証実験終了後の令和6年10月以降も元狭山コース、元狭山・長岡コース、石畠・殿ヶ谷コースは運行計画を見直したうえでコミュニティバスの運行を継続
- 箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コースはデマンド交通での実証実験(1年間)に切り替え

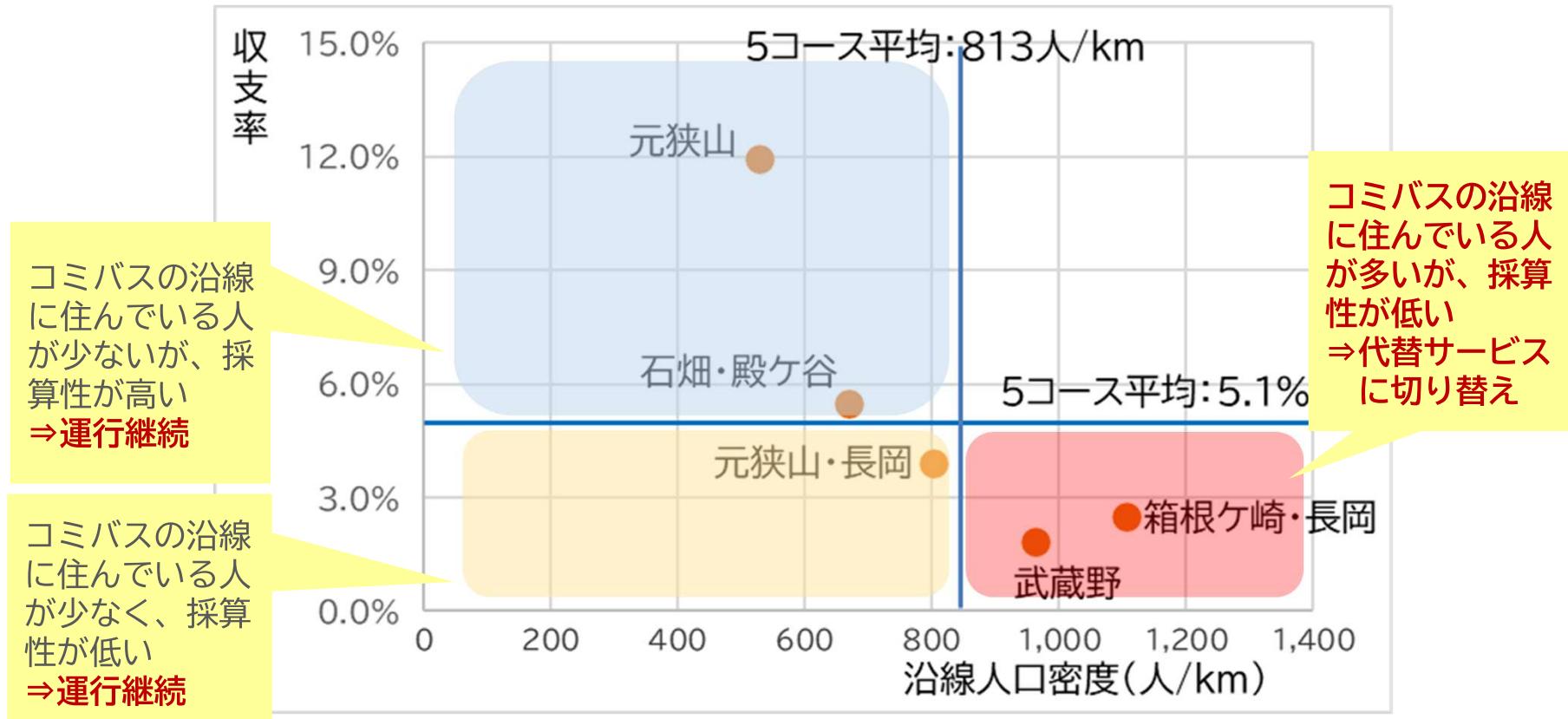


図.令和5年度の各コースの収支率と沿線人口密度

- 沿線人口密度は令和2年の国勢調査より得られた各コースの沿線人口を、各コースの経路の距離で除して算出
- 5コース平均の収支率は、5頁掲載の全体の収支率(収入の総額を経費の総額で除したもの)と異なり、5コースの収支率の比率の平均値をとったもの

収支率の改善や、運行本数や運行時間帯に関する満足度を高める施策を行うための余剰を生み出すため、利用の少ない区間を見直し、利用実態に応じて運行の効率化を図る

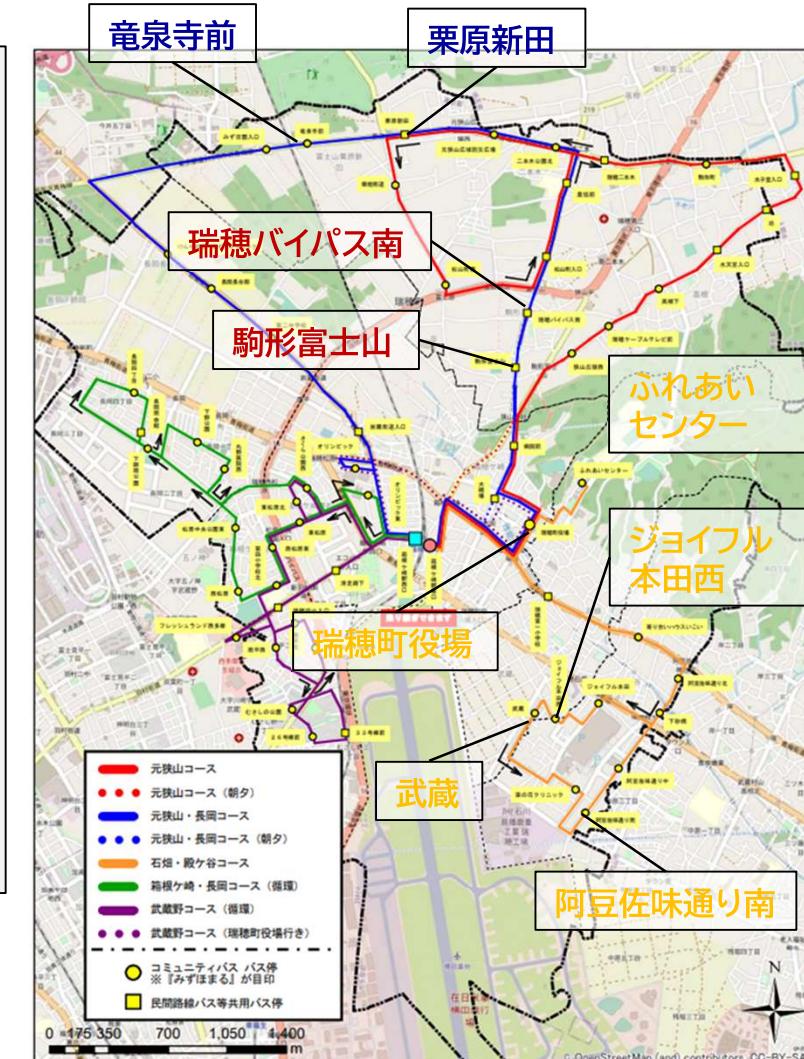
■元狭山・長岡コース

(考え方)

竜泉寺前より西側の区間と、栗原新田より東側の区間の行き来がほとんど無いことから、それぞれの区間が箱根ヶ崎駅と効率的に行き来できる運行に見直す

(見直し方針)

東口発の便は元狭山コースと統合
西口発の便は往復利用できる循環コース



■元狭山コース (考え方)

元狭山・長岡コースが変更により経由しなくなる「瑞穂バイパス南」「駒形富士山」をカバーできる運行とする
(見直し方針)

上記2バス停を経由する便を数便ごとに設ける

■石畠・殿ヶ谷コース (考え方)

利用のほとんど無い区間の運行を取りやめ、運行距離・時間を短縮する
(見直し方針)

「ジョイフル本田西」「武藏」「阿豆佐味通り南」の廃止、また時間帯によって復路での「ふれあいセンター」「瑞穂町役場」の立ち寄りを省略

元狭山・長岡コース(利用実態①)

9

- ・ 竜泉寺前より西側の区間と、栗原新田より東側の区間の間の行き来がほとんど無い
- ・ 経路変更で経由しなくなる瑞穂バイパス南、駒形富士山には一定の利用がある

元狭山・長岡コース (東口発)

表. R5/10/9~11/8のOD調査結果(1ヶ月間合計)

乗車	降車	箱根ヶ崎駅東口	大橋場	瑞穂町役場	病院前	駒形富士山	瑞穂バイバス南	松山町入口	農協前	二本木公園北	元狭山広域防災広場	栗原新田	竜泉寺前	みずほ園入口	けんちの苑・みずほクリニック	長岡長谷部	第二中学校	岩蔵街道入口	オリンピック	箱根ヶ崎駅西口	合計
箱根ヶ崎駅東口	1	0	14	6	62	42	76	83	42	48	41	18	5	12	5	1	2	0	2	460	
大橋場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
瑞穂町役場	0	0	0	0	0	3	0	5	17	0	6	1	2	0	0	0	0	7	0	42	
病院前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
駒形富士山	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	19	
瑞穂バイパス南	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10	
松山町入口	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	28	
農協前	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	42	
二本木公園北	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	18	
元狭山広域防災広場	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	2	1	27	
栗原新田	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	29	
竜泉寺前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
みずほ園入口	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	
けんちの苑・みずほクリニック	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
長岡長谷部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
第二中学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	
岩蔵街道入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
オリンピック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
箱根ヶ崎駅西口	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
合計	23	0	17	6	66	44	82	104	44	54	42	20	8	16	5	9	7	13	207	767	

元狭山・長岡コース (西口発)

乗車	降車	箱根ヶ崎駅西口	オリンピック	岩蔵街道入口	第二中学校	長岡長谷部	けんちの苑・みずほクリニック	みずほ園入口	竜泉寺前	栗原新田	元狭山広域防災広場	二本木公園北	農協前	松山町入口	瑞穂バイバス南	駒形富士山	病院前	瑞穂町役場	大橋場	箱根ヶ崎駅東口	合計
箱根ヶ崎駅西口	0	2	3	44	4	8	18	6	20	12	8	23	1	7	18	1	0	0	0	3	178
オリンピック	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	4	0	1	0	3	0	0	1	12	
岩蔵街道入口	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	
第二中学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	13	
長岡長谷部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
けんちの苑・みずほクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	9	
みずほ園入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15	0	0	6	0	35	
竜泉寺前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	23	
栗原新田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	39	
元狭山広域防災広場	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	40	
二本木公園北	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	14	
農協前	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	20	3	81	
松山町入口	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	56	
瑞穂バイパス南	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	45	
駒形富士山	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	50	
病院前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
瑞穂町役場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
大橋場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
箱根ヶ崎駅東口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	26	2	3	45	4	8	19	6	23	17	9	24	11	23	20	7	51	12	315	625	

「瑞穂BP南」「駒形富士山」で降車

オリンピック～竜泉寺前～栗原新田～大橋場
全利用者のうち7.5%

- 西側の区間の利用は少ないが、1ヶ月間の利用者数の合計では「第二中学校」「みずほ園入口」はコース全体の中央値と近い水準の利用があるため、この区間の廃止までは考えにくい
- 他路線で代替できない「オリンピック」～「竜泉寺前」の利用者数は、平日の6時台および11～13時台、土日の全時間帯で少なく、効率化の余地がある

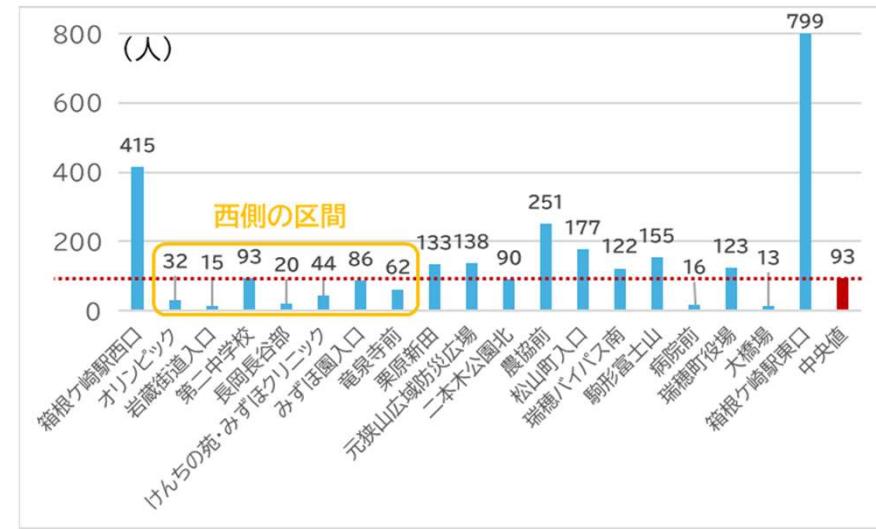


図. 令和5年10月9日～11月8日のバス停別利用者数(乗車・降車計)

表. 令和5年10月16日(月)～10月20日(金)の便別利用者数(オリンピック～竜泉寺前・5日間計)

	1便 (6:27)	2便 (7:25)	3便 (7:45)	4便 (9:45)	5便 (11:10)	6便 (12:40)	7便 (14:10)	8便 (15:40)	9便 (17:10)	10便 (18:10)	11便 (18:30)	11便 (19:20)
箱根ヶ崎駅西口発～東口着	0	3	10	4	3	2	3	1	6	0	0	2

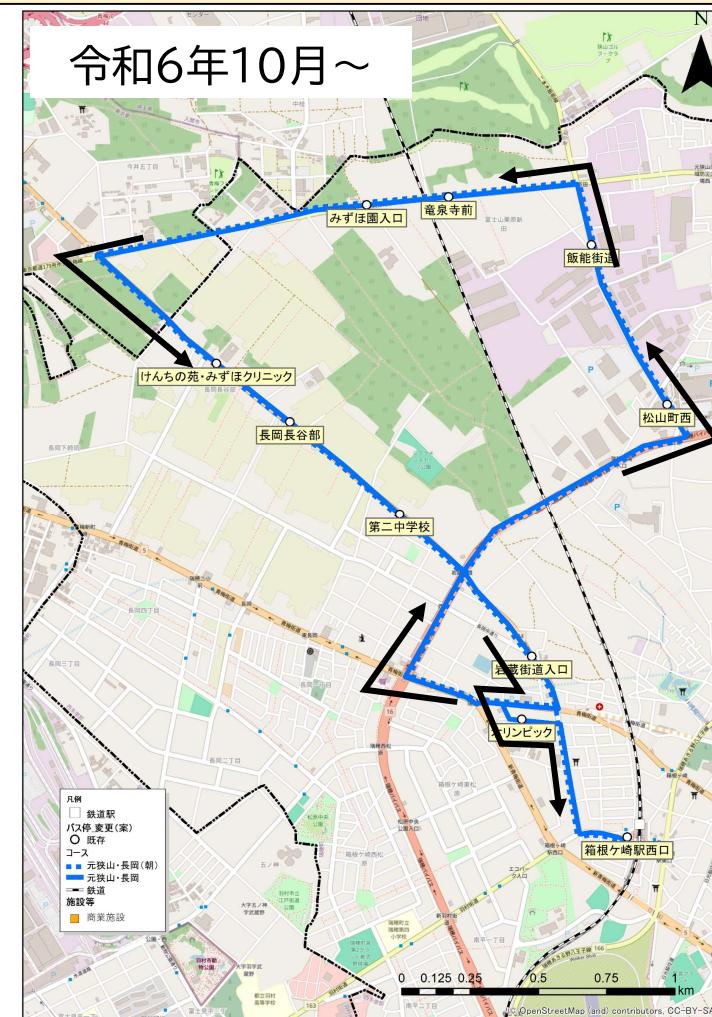
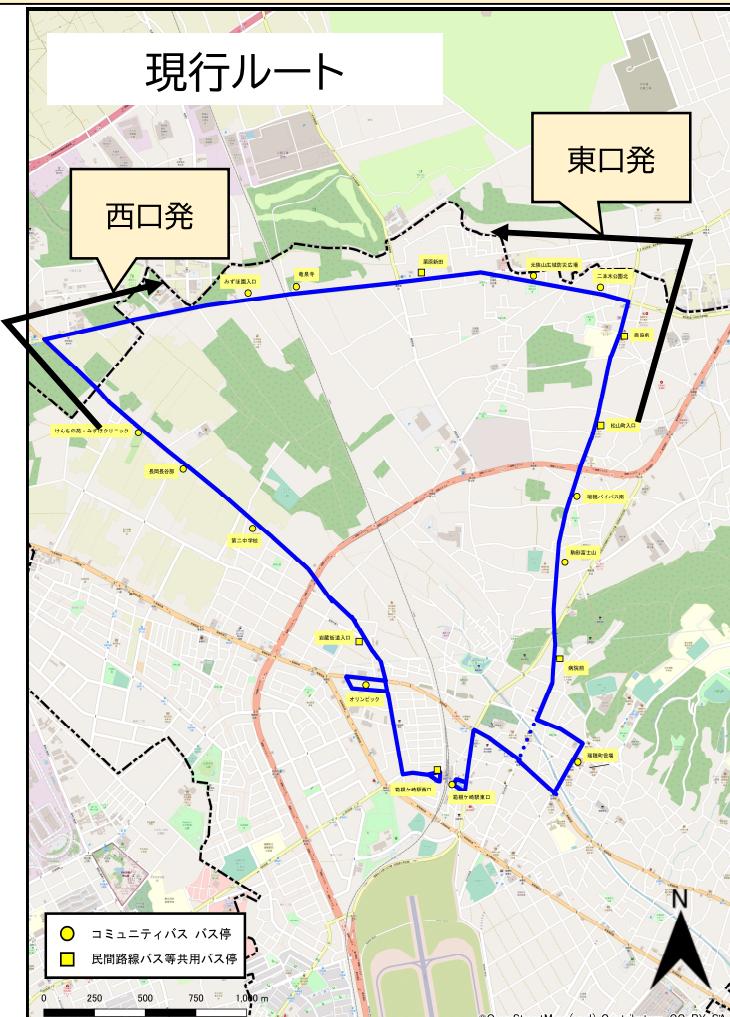
	1便 (6:44)	2便 (6:50)	3便 (8:20)	4便 (10:30)	5便 (11:55)	6便 (13:20)	7便 (14:55)	8便 (16:25)	9便 (17:55)	10便 (18:45)
箱根ヶ崎駅東口発～西口着	1	1	7	11	1	0	3	6	5	5

表. 令和5年10月14日(土)～10月15日(日)の便別利用者数(オリンピック～竜泉寺前・2日間計)

	1便 (6:22)	2便 (6:40)	3便 (7:15)	4便 (8:35)	5便 (10:00)	6便 (11:35)	7便 (13:05)	8便 (14:30)	9便 (16:00)	10便 (17:15)	11便 (17:50)	11便 (19:04)
箱根ヶ崎駅西口発～東口着	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0

	1便 (6:40)	2便 (7:55)	3便 (9:15)	4便 (10:50)	5便 (12:25)	6便 (13:50)	7便 (15:15)	8便 (17:15)	9便 (18:29)
箱根ヶ崎駅東口発～西口着	0	0	0	0	1	1	0	0	2

- 西側・東側それぞれから効率的に目的地(箱根ヶ崎駅)にアクセスできる路線にするために西口発・東口発をそれぞれ異なる形で変更する
- 西口発の便は、飯能街道、国道16号を経由して西口に戻ってくる(朝はオリンピックを省略)
- 東口発の便のニーズは、概ね元狭山コースで対応できるため元狭山コースと統合する
- 平日は利用の少ない時間帯の減便、土日は廃止の可能性も含めた大幅な減便の検討



- 平日は朝夕のピーク時以外も、一定程度の利用が見られる
- 松山町西の利用が多いなどバス停によって利用者の多寡はあるが、路線全体で満遍なく利用されており、経路の短縮などによる効率化は考えにくい

表. 令和5年10月16日(月)～10月20日(金)の便別乗車人員

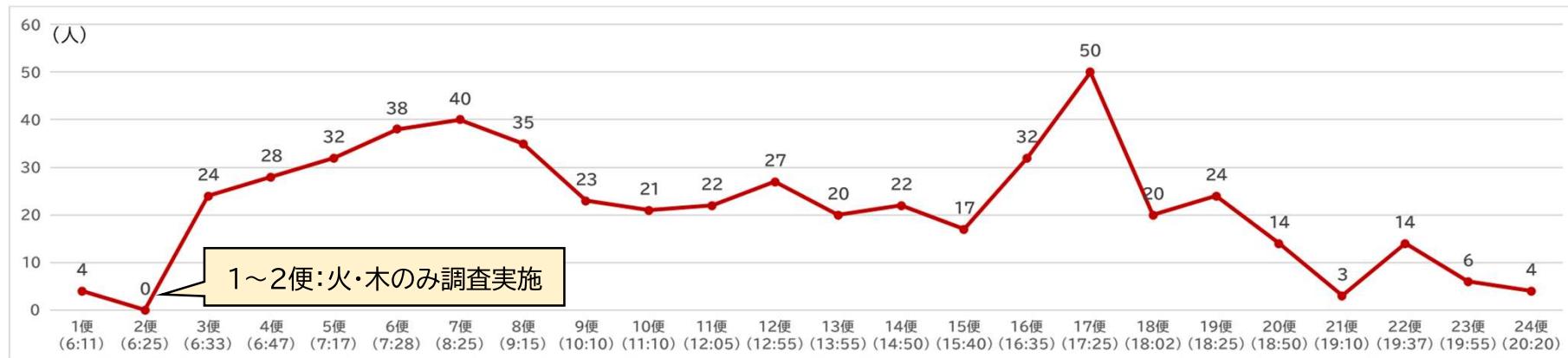
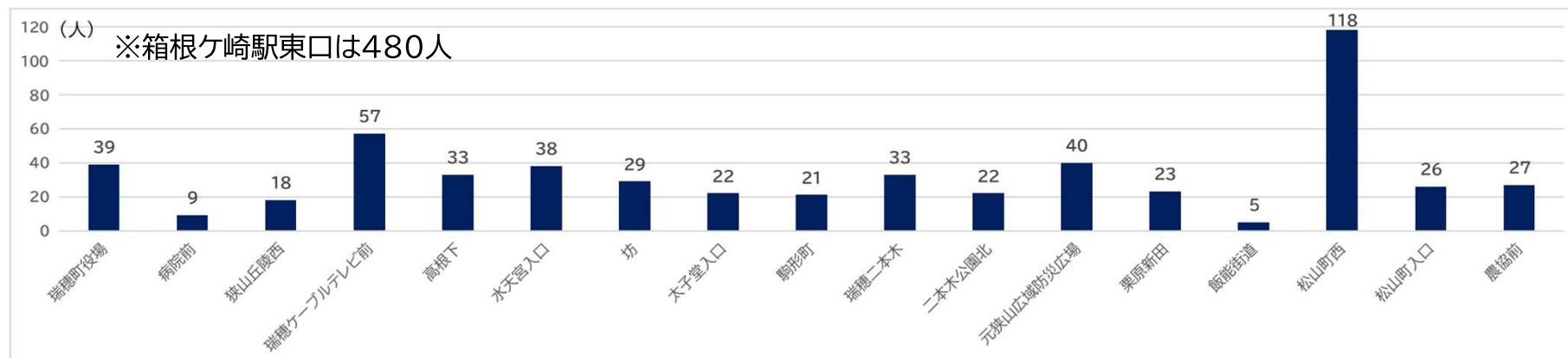


表. 令和5年10月16日(月)～10月20日(金)のバス停別利用者数(乗車・降車計)



- 土日の1～3便、21～22便はの利用は2日間の合計で0～2人のみ
- 松山町西など利用の多い一部のバス停を除くと、2日間で5～10人程度が利用するバス停が満遍なくあるため経路の短縮による効率化は考えにくい

表. 令和5年10月14日(土)～10月15日(日)の便別乗車人員

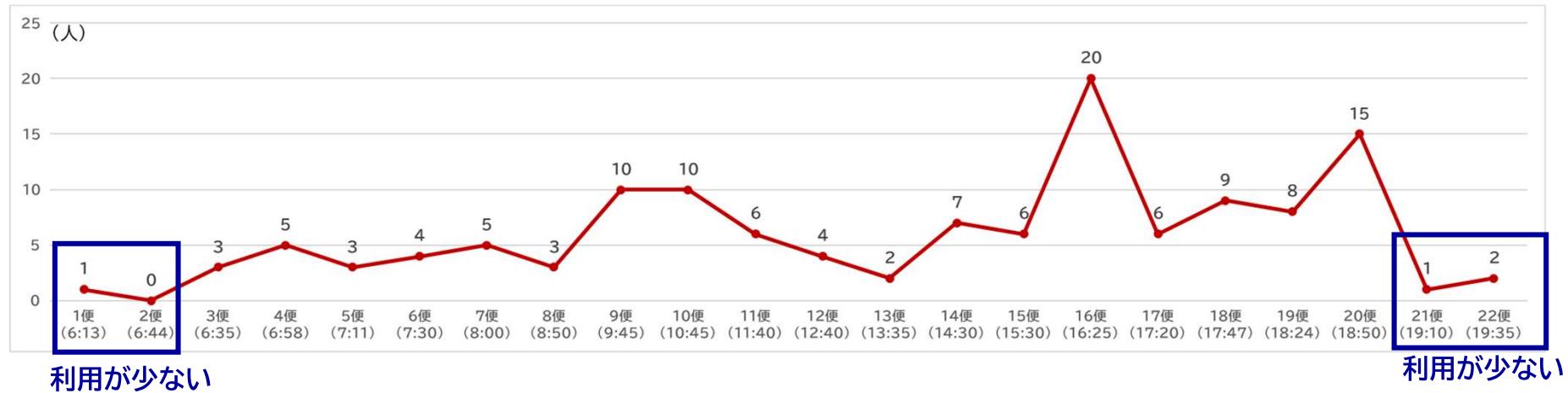
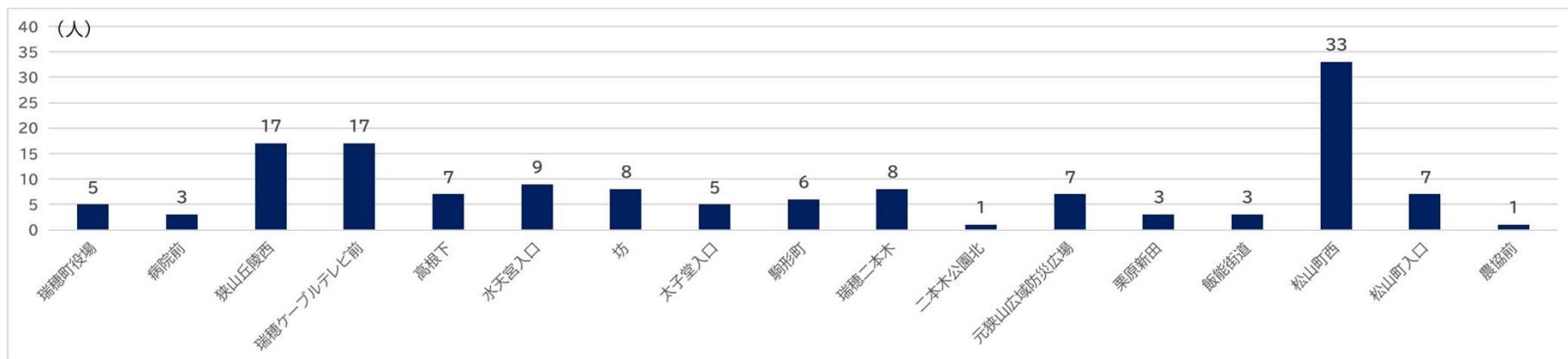


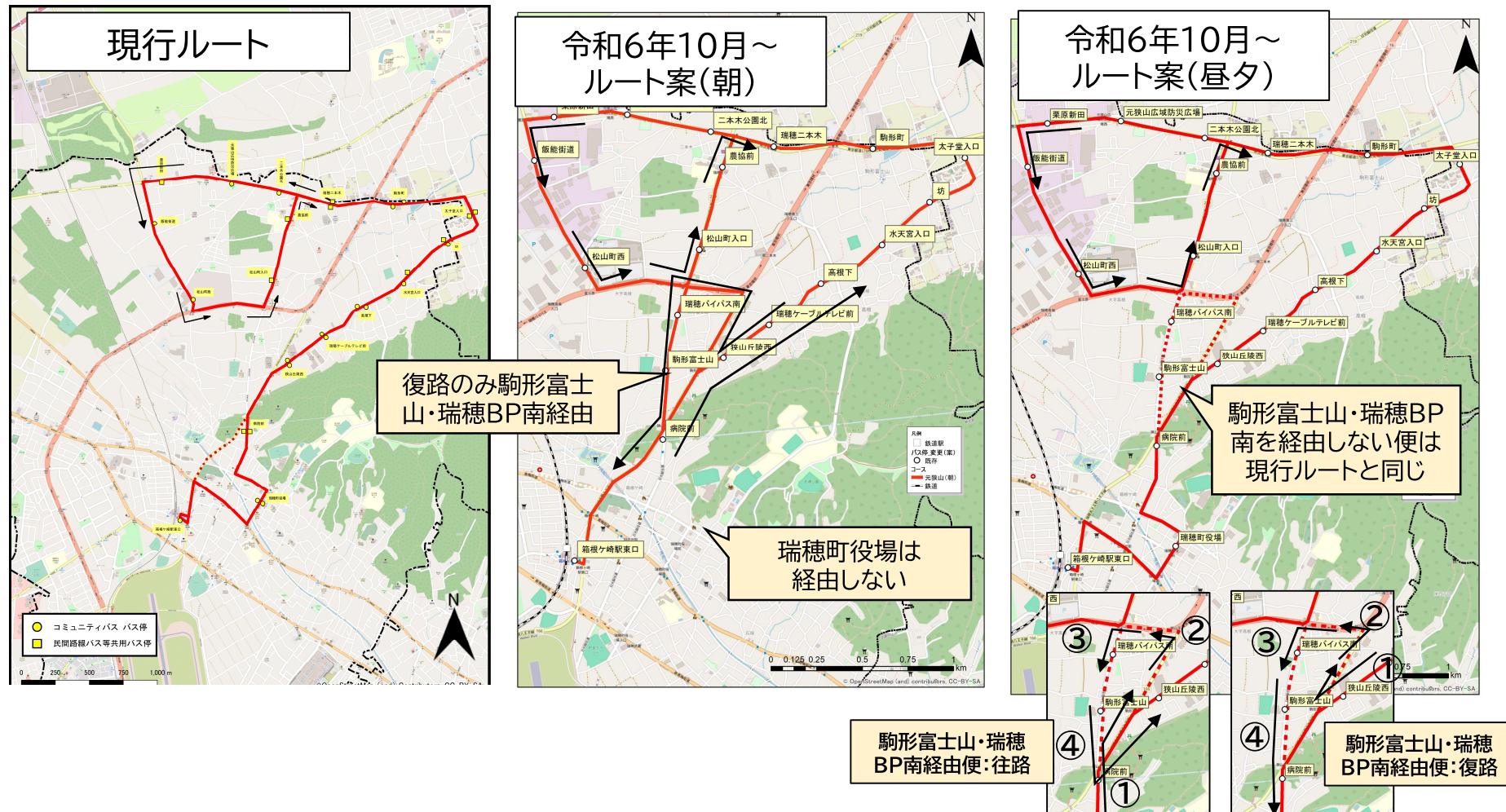
表. 令和5年10月14日(土)～10月15日(日)のバス停別利用者数(乗車・降車計)



元狭山コース(運行計画案)

14

- 利用の少ない平日の1~2便、土日の1~3便、21~22便は削減(営業所から箱根ヶ崎駅へ)
- 元狭山・長岡コースから外れたが、一定の利用があった「駒形富士山」「瑞穂バイパス南」を通過する便を数便おきに設ける
- 朝の便は瑞穂町役場を通過せず、また復路に「駒形富士山」「瑞穂バイパス南」を経由



- 「ジョイフル本田西」～「阿豆佐味通り南」の利用がほとんど無い
- 平日の日中と土日の朝夕に、復路の「ふれあいセンター」「瑞穂町役場」の利用がほとんどない

表. 令和5年10月9日～11月8日の「ジョイフル本田西」～「阿豆佐味通り南」区間バス停別利用者数(乗車・降車計)

	ジョイフル本田西	武藏	菜の花クリニック	阿豆佐味通り南	全利用者
平日	8	4	8	3	524
土曜	0	0	0	0	99
日曜・祝日	3	0	0	0	117
合計	11	4	8	3	740

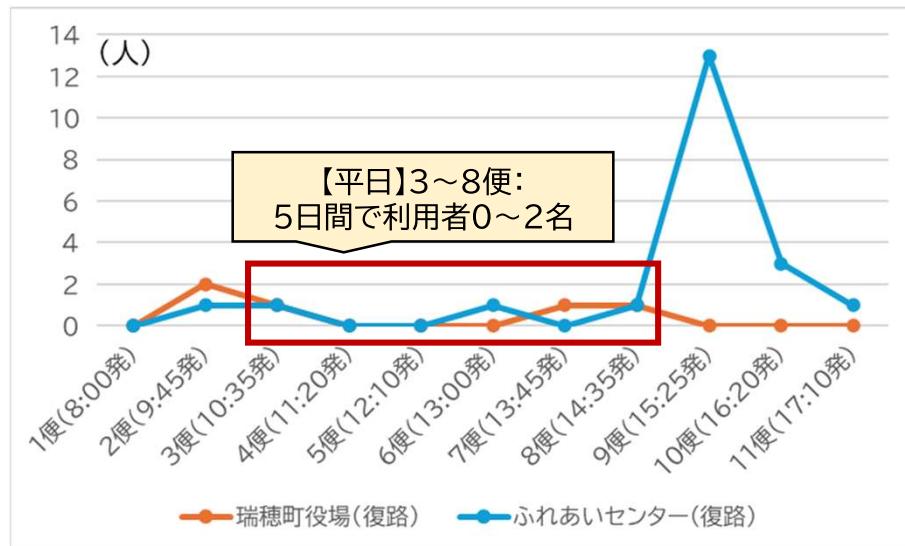


図. 令和5年10月16日(月)～10月20日(金)の
「ふれあいセンター」「瑞穂町役場」復路利用
者数(乗車・降車計)

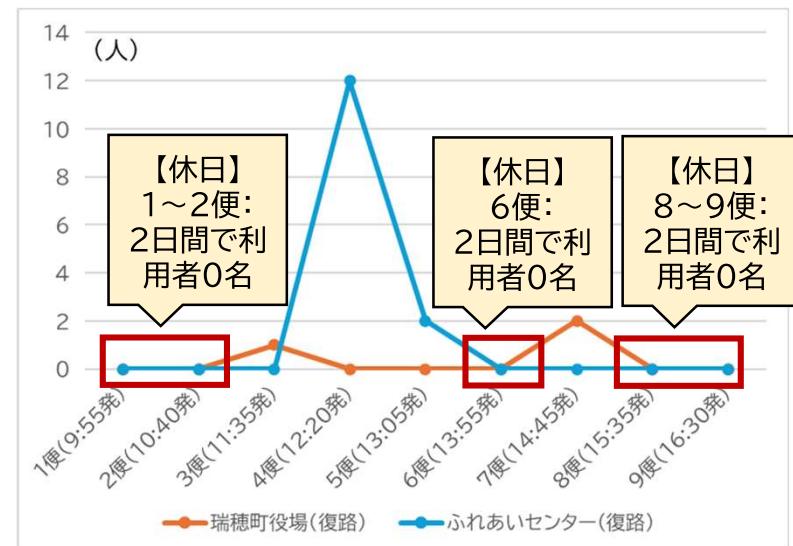
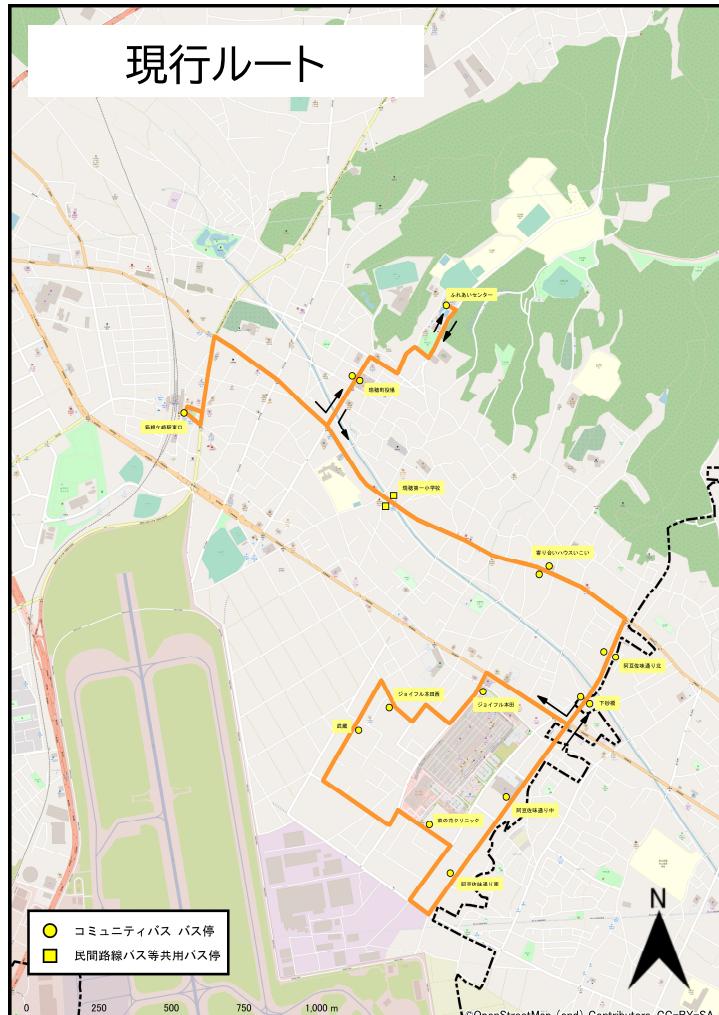


図. 令和5年10月14日(土)～10月19日(日)の
「ふれあいセンター」「瑞穂町役場」復路利用
者数(乗車・降車計)

- OD調査の結果、利用がほとんど無かった「ジョイフル本田西」「武蔵」「阿豆佐味通り南」は廃止し、運行経路を短縮する
- 「ふれあいセンター」「瑞穂町役場」での降車は平日の昼、休日の朝夕にほとんど無いことから、時間帯によって復路は立ち寄らないものとする



- 仮に便数は現状のままとしても、運行計画の見直し(案)により、運行経費が660万円程度削減される見通しで、その経費を増便やデマンド交通の運行、周知などにあてることが可能

表.現在の運行計画における3コースの概算費用

	運行距離 (km)/便	便数 (平日)	便数 (休日)	R5年間運行距離 (km) <small>※a</small>	R5概算運行 経費(万円) <small>※b</small>
元狭山	13.04	24	22	104,854	4,447
元狭山・長岡	8.91	21※	20※	68,837※	2,920
石畠・殿ヶ谷	11.14	11	9	42,485	1,802
合計	-	-	-	216,176	9,169

※箱根ヶ崎駅西口発・東口発の合計

現在の運行距離との比
に、R5の概算運行経費
を乗じて算出
 $d=c \div a \times b$

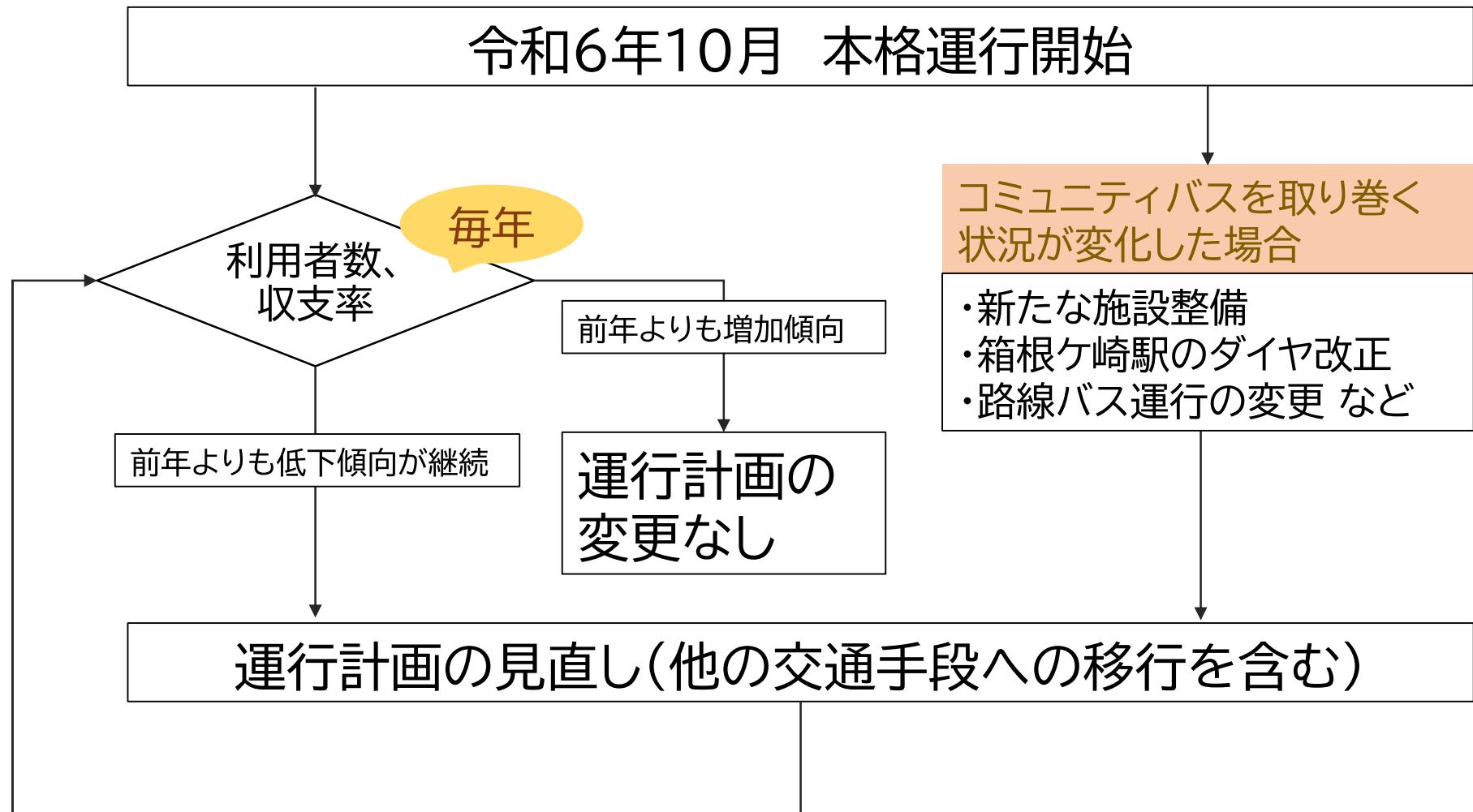
表.運行計画見直し案の3コースの概算費用

		運行距離(km)/便	便数 (平日)	便数 (休日)	年間運行距離 見込(km) <small>※c</small>	概算年間 運行経費(万円) <small>※d</small>
元狭山	朝	14.1	5	6	128,442	5,478
	昼夕	14.6	9	6		
	駒形富士山 ・瑞穂BP南経由	17.1	10	9		
元狭山・長岡	朝	8.5	3	3	37,910	1,608
	昼夕	8.9	9	9		
石畠・殿ヶ谷	通常ルート	9.8	5	5	33,544	1,423
	短縮ルート	8.3	6	4		
合計		-	-	-	199,896	8,509

運行計画案での概算
費用(B)は、
R5の概算費用(A)
より約660万円安い

※B

- 本格運行後のコミュニティバスは、利用状況の変化や取り巻く状況の変化を継続的に確認し、必要に応じて運行計画を見直す



地域	町内全域 ※前回会議で決定																								
対象者	町民で70歳以上の高齢者、障害者手帳の所持者および介護人、妊産婦 →事前に登録することで利用可能に																								
運行日	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>月曜</th><th>火曜</th><th>水曜</th><th>木曜</th><th>金曜</th><th>土曜</th><th>日曜</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>西部</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table>		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	東部		○			○	○		西部	○		○			○	
	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜																		
東部		○			○	○																			
西部	○		○			○																			
運行時間	9時～17時																								
乗降場所	町内の公共施設、医療機関、商業施設、金融機関等を基本とし、 その他に各地区間のバランスを考慮し設置 計100箇所程度																								
車両	ワゴン車(1台)を想定																								
運賃	中心地等 300円 福生病院 500円 3km未満 300円 3km以上 500円 ※介護人は半額 ※未就学児は無料(保護者が利用する場合)																								
利用方法	利用日の2週間前から30分前までに予約が必要 (電話、インターネット)																								

デマンド交通の実証実験運行計画(対象者・運行日) 20

- 対象年齢は、自動車の運転が難しくなつてくる頃を目安として考え、70~74歳より上の世代の運転免許返納件数が特に多いことから、70歳以上と設定
- 運行日は、1台の車両で効率的に配車することを鑑み、町内を**東部**・**西部**に分けそれぞれ平日2日ずつ、土曜のみ町内全域の登録者が利用可能とした

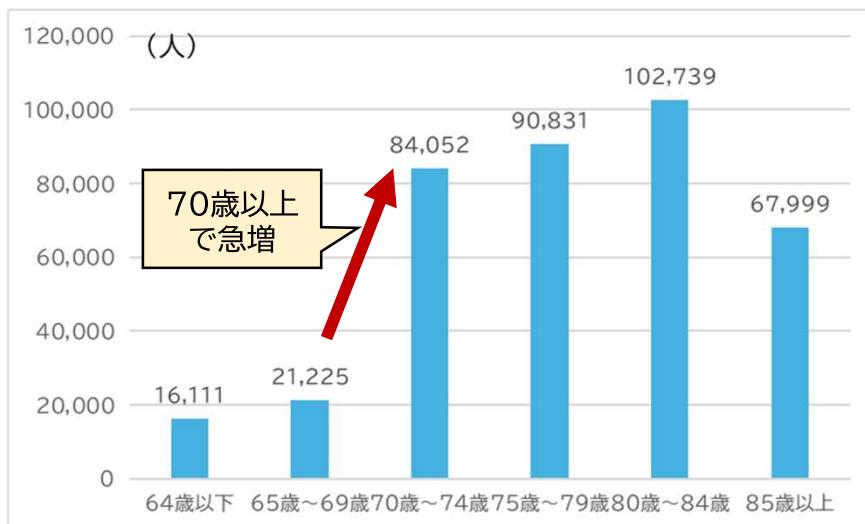


図. 令和5年の年代別運転免許返納件数
出典:警察庁・運転免許統計(令和5年度)

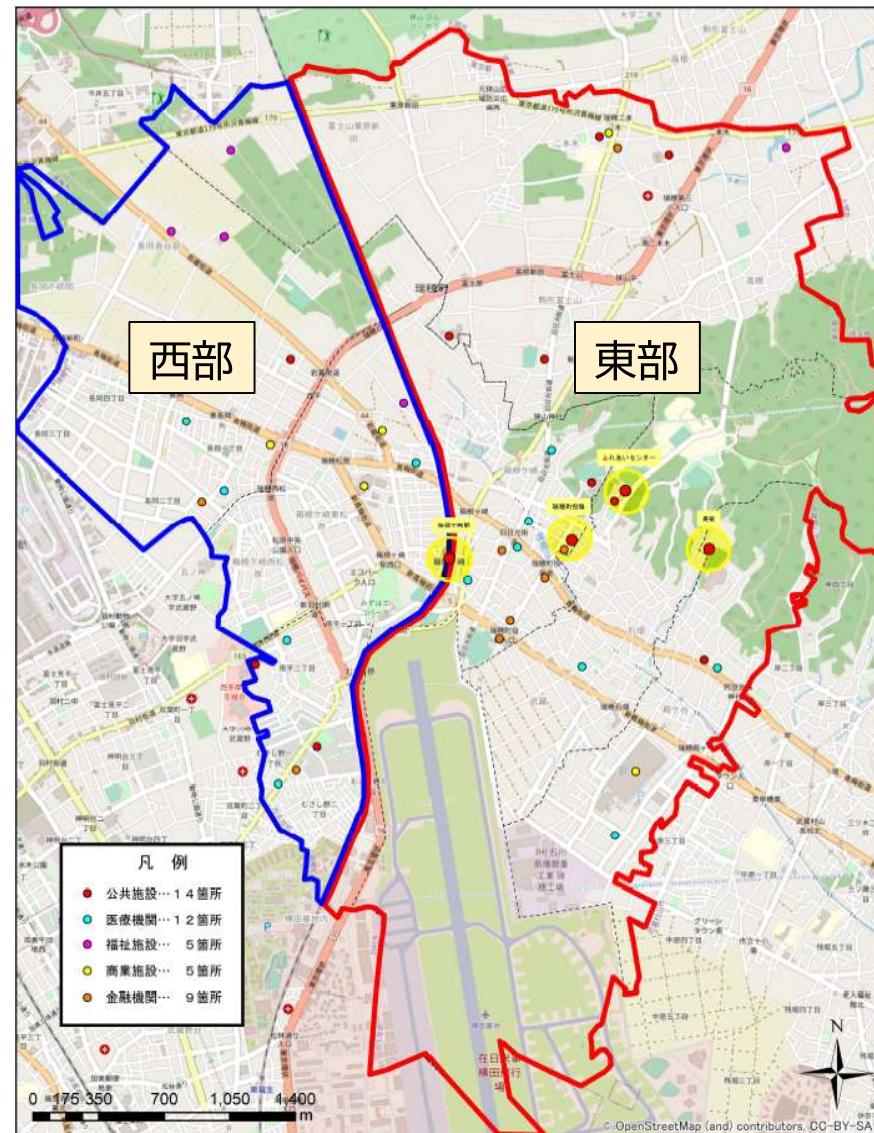


図. 東部・西部の区分

- 町役場や箱根ヶ崎駅などの公共施設、医療施設(福生病院を含む)、福祉施設、商業施設(ジョイフル本田、オリンピック等)など目的地となる45箇所に加え、各地区間のバランスを考慮し設置する 計100箇所程度
- 町外での乗降は、福生病院、フレッシュランド西多摩(休業中)のみ可能

表. 乗降場所(目的地側)想定案

公共施設	医療機関	福祉施設	商業施設	金融機関・郵便局
瑞穂町役場	新井クリニック オレンジ薬局	みずほ園	ジョイフル本田	西多摩農協 瑞穂支店
箱根ヶ崎駅	石畠診療所	けんちの苑	オリンピック	西多摩農協 元狭山支店
ふれあいセンター	栗原医院 歯科医院・矯正歯科 ファーコス薬局 瑞穂	フラワープラム	スーパーナカムラ	青梅信用金庫 瑞穂支店
寿楽	みずほ病院 さつき薬局瑞穂店	良友園	スーパーシモダ	多摩信用金庫 瑞穂支店
保健センター	高水医院 みずほ調剤薬局	不老の郷	ふれっしゅはうす	西武信用金庫 瑞穂支店
武藏野コムセン	菜の花クリニック	以上5箇所	以上5箇所	西武信用金庫 長岡支店
元狭山コムセン	丸野医院 アイン薬局			瑞穂郵便局
長岡コムセン	岩永歯科医院			長岡郵便局
けやき館	きたはらファミリー歯科			むさし野郵便局
シルバー人材センター	殿ヶ谷歯科医院			以上9箇所
瑞穂斎場	箱根ヶ崎歯科医院			
いこい	山岸歯科医院			
フレッシュランド西多摩	以上12箇所			
スカイホール				
以上14箇所				

※乗降場所は想定であり、施設管理者、事業者等との調整は未実施です。

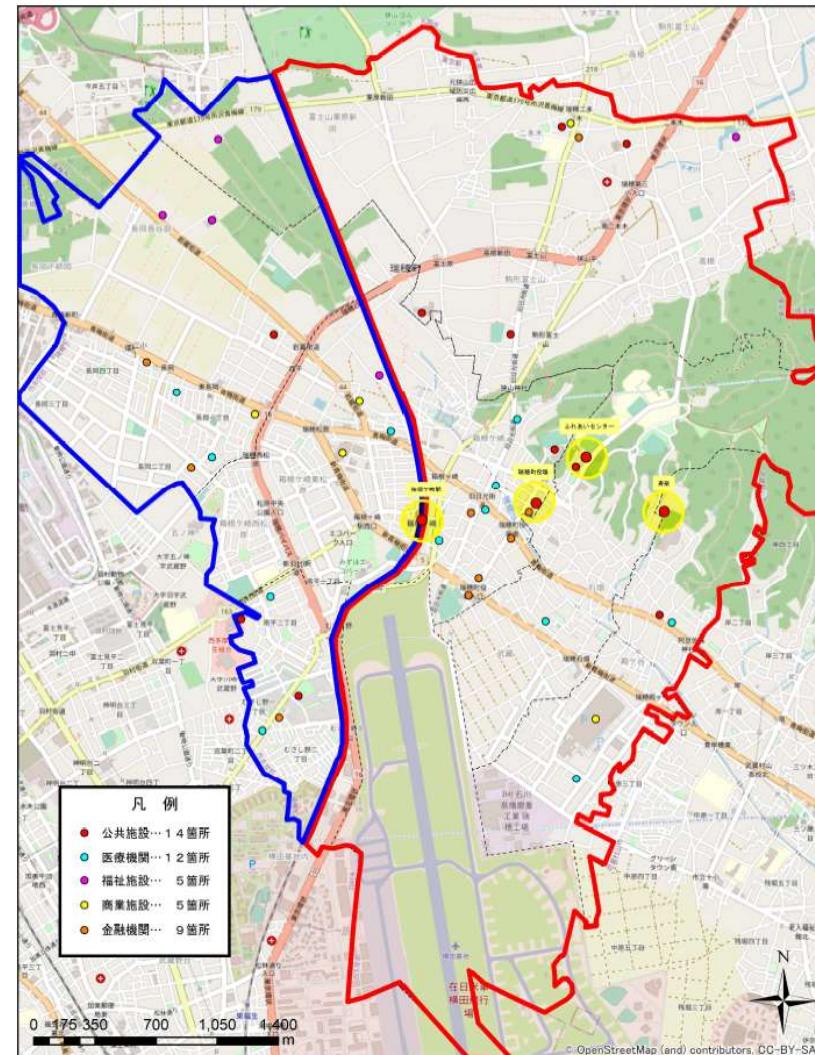
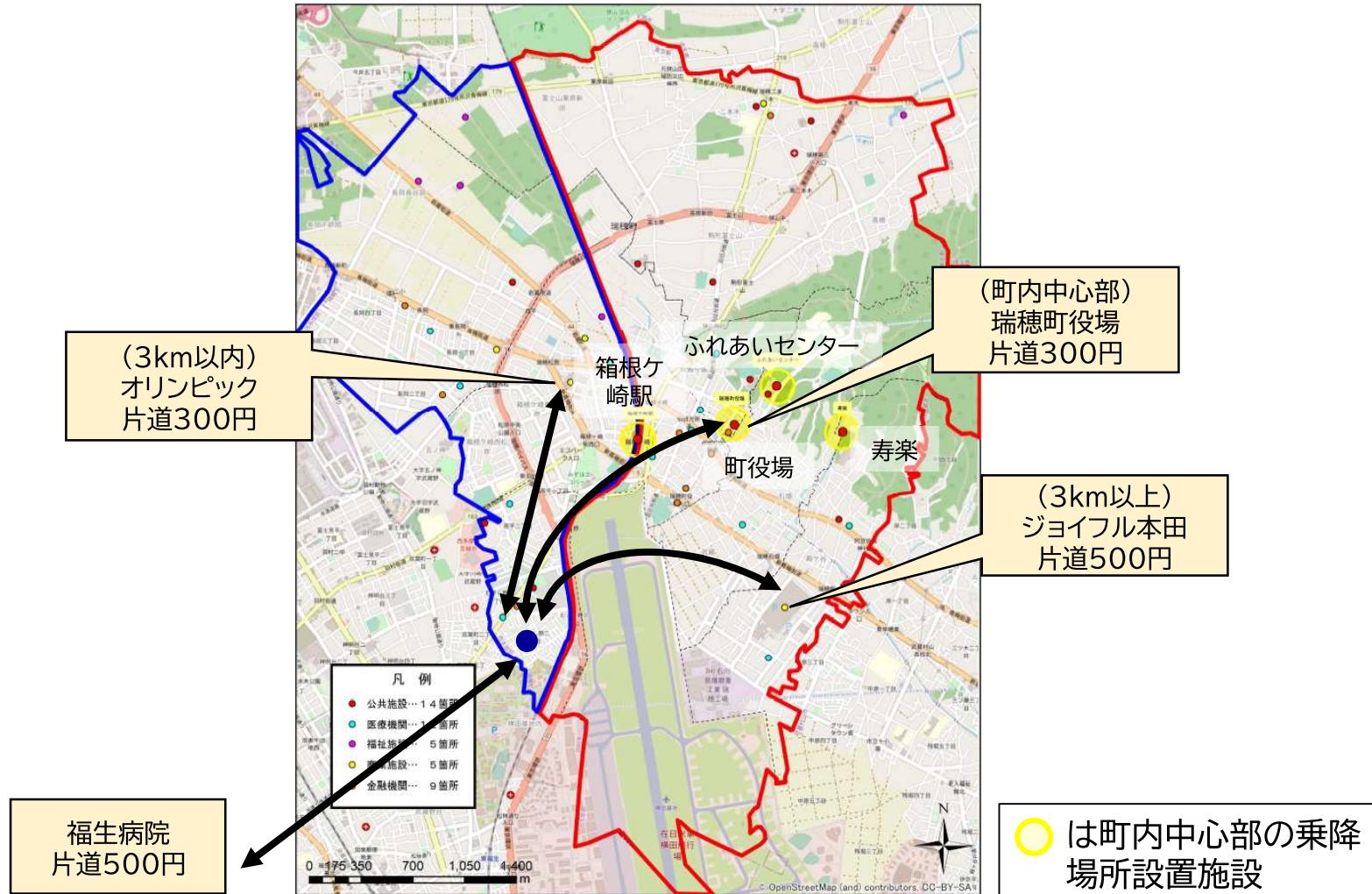


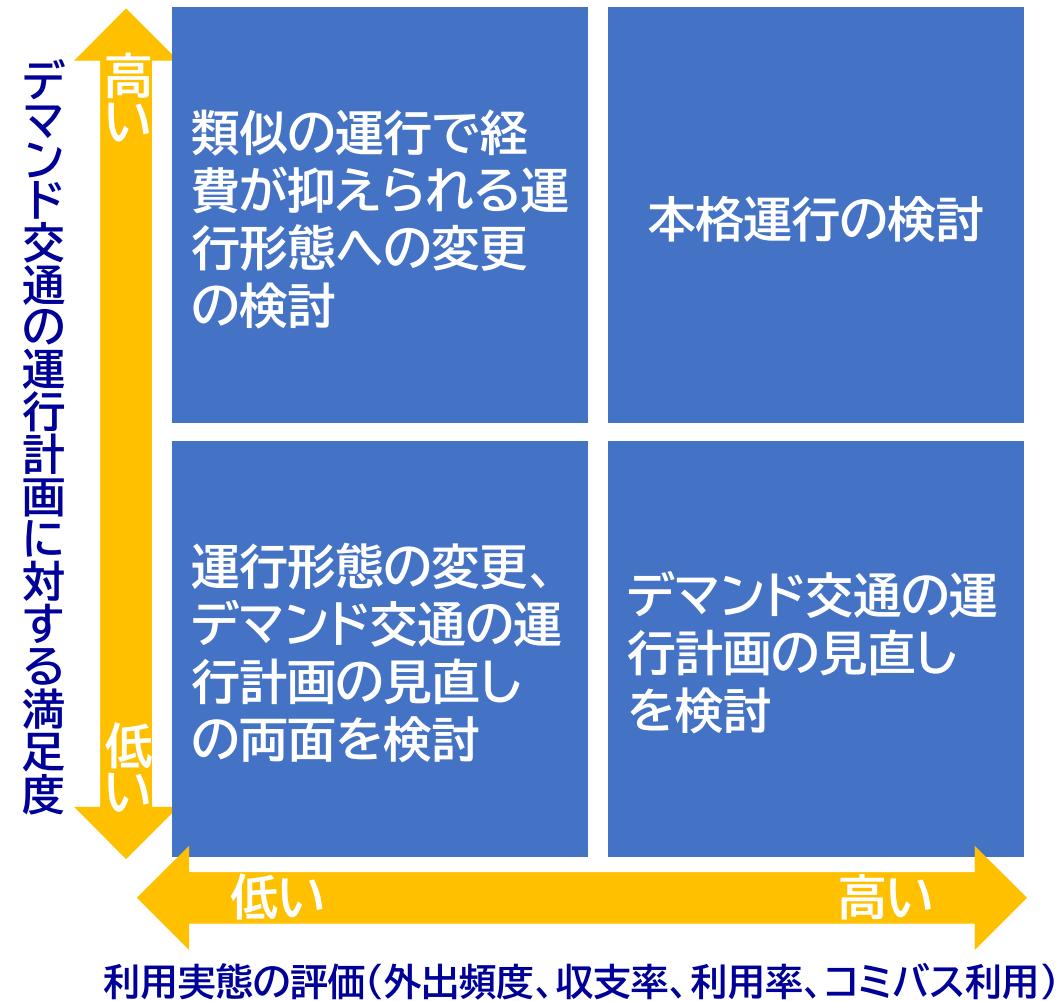
図. 乗降場所(目的地側)の設置位置図

- 公共性の高い施設への平等なアクセスを担保するため、町内中心部(箱根ヶ崎駅・町役場等)へのアクセスは一律300円、福生病院へのアクセスは一律500円とした
- その他は運行距離に応じた料金とし、3km以下なら300円、以上なら500円



- 瑞穂町デマンド交通は、高齢者等の免許返納や外出促進に資する福祉的側面を持つ公共交通であることから、利用者の満足度(運行計画)と利用実態の両面から実証運行を評価することが必要
- 利用実態の評価項目は以下のとおりであり、登録者に対するアンケート等により把握する
 - ①外出頻度の増加
 - ②収支率
 - ③利用率
 - ④コミュニティバス利用の増加
(例えば行きはコミュニティバス・帰りはデマンド交通、というような使い方の影響) など

図.デマンド交通の実証運行の評価方法(案)



令和6年3月 令和5年度第3回地域公共交通会議

- 実証実験終了後の方針決定

令和6年5月 令和6年度第1回地域公共交通会議

- コミュニティバス、デマンド交通の運行計画案の提示

本日

令和6年7月 令和6年度第2回地域公共交通会議

- 最終的な運行計画の承認

令和6年7月～ 広報・周知活動

令和6年10月 コミバス運行計画変更／デマンド交通の運行開始

令和7年2月 令和6年度第3回地域公共交通会議

- 変更後のコミュニティバス／デマンド交通実証実験の経過報告

コミバス運行計画見直し／
デマンド交通の具体的検討・準備

認可申請

利用状況の確認・評価